

個人質疑より

武岡公園

まつお：整備予定地の土地取得率と7年度末の取得予定について示してください。

建設局長：令和6年度末の取得率はおよそ90%、7年度末には事業用地の取得を完了する予定です。

まつお：武岡方面からの道路整備についての見解は。

建設局長：アクセスについては周辺の土地利用状況ほか、市道武武岡線から公園までの高低差が著しいことから、難しい状況と考えております。

まつお：供用開始の時期を示してください。

建設局長：12年3月の完成をめどに整備を進めてまいりたいと考えております。



公園へのアクセスとともに、防災等の観点からも道路整備は必要と考えます。今後も引き続き質疑を交わしてまいります。

田上小学校周辺面的整備調査検討事業

まつお：6年度の事業内容をお示ください。

建設局長：土地区画整理事業の実現性の検証に向けた事業規模や着手時期の検討調査を行っているほか、県と新川の改修状況についての協議などを行っています。

まつお：7年度の事業内容についてお示ください。

建設局長：本市の財政状況や、今後の社会情勢等を踏まえた事業実現性検証調査を引き続き実施することとしています。

武3丁目の法面工事について

※鉄筋挿入工やモルタル吹付等による復旧工事は3月末に終了※

まつお：今後の対応とスケジュールについて示してください。

建設局長：復旧工事は3月に完了予定。のり面工事の残りの区間については相続人が多数のため協議に時間を要していますが、用地取得に向けた取組を引き続き進めてまいります。



2024年12月



2025年4月

地域のご相談

道路の白線、通学路の横断歩道等交通安全対策、また急傾斜地相談についてのご相談が非常に多く寄せられています。まずはご相談いただければと思います。←坂之上3丁目 スピードを出す車両への対策としても有効な表示やラインを引いていただきました。



〒892-0816

鹿児島市山下町11-1西別館3階

立憲・社民市議団控室

TEL 099-808-2813



haruyo@kagoshimashigikai.com

お困りごとがあれば、お聞かせください！



鹿児島市議会議員

まつお



はるよ

市政報告 Vol.18



令和7年第一回定例会

令和7年度当初予算一般会計 2953億5600万円

予算の特徴

3年連続増⇒128億円（4.5%）増

子育て支援事業：6年度より69億円増の534億円

◆こども医療費の全額助成の対象を中学3年生まで拡大/窓負担ゼロ◆市独自の児童相談所の設置費用（人材育成）など

おもな新規事業

行かない市役所促進新電子申請システム導入事業／奨学金代理返還支援制度導入促進補助金／認知症オレンジシティ推進事業／地域福祉館バリアフリー推進事業／桜島火山防災研究事業／電車安全輸送向上事業／など

会派代表質疑/ 新年度予算について

代表：新年度予算の特徴はどのようなものか。

市長：本格的な人口減少時代を見据え、本市の成長を強力にけん引する重点的な取り組みを中心に厳しい財政状況の中、財政の健全性に意を用いながら編成をしました。

代表：物価高騰による生活困窮者救済等への財政調整基金活用の考え方を示してください。

企画財政局長：国の地方創生臨時交付金を活用し低所得者支援補足給付金事業などを計上したところであり、今後も長引く物価高騰に的確に対応し基金活用を含め活用可能な財源を確保しながら、切れ目のないきめ細やかな支援を行ってまいりたいと考えております。

代表：10月から96施設において料金を改定し値上げする件について、物価高騰により市民生活が影響を受けている中で、負担増をどのよう

に市民に説明をするのか。

企画財政局長：改定に当たっては市民生活に配慮した二段階の激減緩和の軽減措置を講じるとともに、市外料金を導入することで市民負担の軽減を図ったところです。適切な受益者負担を求めることで、市民負担の公平性を確保するとともに持続可能な施設運営に必要な改定であることをご理解いただけるよう丁寧な説明に努めてまいります。



個人質疑 3月5日

7年度当初予算



代表質疑/ 火山防災研究所について

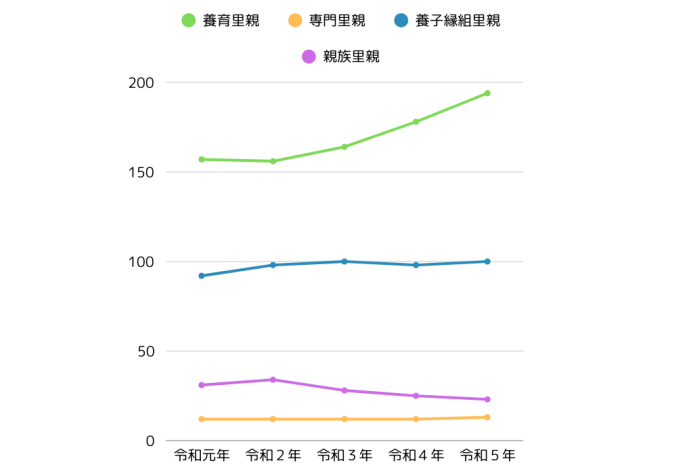
代表：桜島火山防災研究所について、
①事業内容とスケジュール、
②予算および財源の内訳、
③人件費において一名に限り、特別交付税措置の対象となる予定であるが、その経緯とは。
④火山防災トップシティ構想における「鹿児島モデルによる世界貢献」に資するためにも、国からの支援をさらに求めるべきと考えますが、見解を示してください。
危機管理局長：①大規模噴火時の市街地側も含めた**市民の避難にかかる研究等を行うため7年4月に設置し、他機関との大量のデータ通信・解析等を行うネットワーク環境整備に着手するほか研究員2名を採用し大量軽石火山灰からの避難対象地域の決定に資する火山灰拡散予測シミュレータの構築等を行う**予定です。

個人質疑／児童相談所と里親制度について

まつお：里親制度について、県における代替養育を必要とする子どもの人数を示してください。
こども未来局長：元年度から5年度まで**734、733、722、681、666人**です。
まつお：里親制度の課題と対策は。
こども未来局長：県によると、里親委託率が令和5年度には17%と上昇しているが**全国平均には届いていないこと、子どもの数に対して里親等の数が少ないこと**、里親等を増やす必要があるとのことであり、対策としては里親の確保に努めるほか、**研修の実施などさらなるフォスタリング業務の充実を図るとともに、既存の施設等と連携した支援を進めていく**とのこと。
まつお：児童相談所の果たす役割と今後の方向性についての考え方を示してください。
こども未来局長：児童相談所は里親支援機関、里親会等と緊密に連絡を保ち、円滑に制度が実施される

②主な予算は火山灰予測シミュレータ構築業務及びネットワーク構築業務の委託料が約1470万円、これらの事業費に対し充当率90%、交付税措置50%のデジタル活用推進事業債の活用を予定しています。
③人件費への国の支援については、活火山法改正による人材確保、火山防災強化市町村ネットワークおよび桜島火山活動対策協議会として財政支援を要望してきたことにより新たに特別交付税措置の対象になったものと考えています。
④国の支援については火山防災のモデル都市として、国内外の火山地域の被害軽減に貢献できるよう引き続き財政支援等の充実・強化を要望してまいります。

ように努めることされています。里親に関する事務については今後、**県児童相談所から事務移管に関する協議を行い、本市が実施する具体的な取組について検討**してまいりたいと考えております。



↑個人質疑答弁における県内の里親数の推移増加はしているものの、必要とする子どもの数に対しては足りていない現状です。



個人質疑／主に女性のための取組について

DV対策について

まつお：本市のDV相談の被害相談件数と加害相談件数を示してください。
市民局長：被害相談件数は令和元年度から5年度まで**414、597、435、611、664件**です。加害相談は**3、3、4、4、5件**です。
まつお：国の交付金を活用した加害者プログラムの実施について当局の見解をお示してください。
市民局長：国の示す「実施のための留意事項」に沿ったプログラムを実施する民間団体の情報収集と課題の整理や実施方法の調査研究に努めているところであり、現時点での同交付金活用予定はございません。
まつお：今後の対応を示してください。
市民局長：他自治体や民間団体の情報収集に努めるとともに課題の整理や実施方法などの調査研究を行ってまいりたいと考えております。

DV相談件数が増えている本市の現状を鑑み、被害者支援の立場から加害者プログラムの実施を引き続き求めてまいります。

※加害者プログラムとは

DV加害者の認知・行動変容を起こすことなどを目的として行う配偶者暴力加害者プログラム

朝霞市：障害児等療育支援事業
江戸川：区避難行動要支援者対策
港区：戸別訪問収集、粗大ごみの運び出し収集
川崎市：子ども夢パーク、公設民営フリースペース「えん」
以上について、立憲・社民市議団で視察を行いました。



女性つながりサポート事業での生理用品の公共施設設置について
まつお：生理用品について、令和7年1月の設置施設数と主な施設、事業開始から7年1月までの累積数、併せて設置の継続について考えをお示してください。
市民局長：**現在の設置施設はサンエールかごしま、本庁及び各支所など24か所**。提供数は事業を開始した4年6月から7年1月までの**累積で8,118パック**です。設置については、相談等につなげる事業の趣旨を踏まえ、利用状況等を見ながら7年度も引き続き取り組んでまいりたいと考えています。



会派行政視察 1月21日－24日



原子力防災訓練
2月15日
国、県、市の訓練の視察の様子。(始良市～郡山)
地震による川内原発の事故を想定した訓練が3日間にわたり行われました。